

10月16日（月）「ワインが水に・・・」

元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

今日は「ワインが水になった話」をします。

みなさんは、ワインというお酒を知っていますか。ワインはブドウから作るお酒です。世界中の多くの国で作られていますが、ブドウがたくさんとれるフランスという国で特にたくさん作られています。

そのフランスのある村の話です。お世話になった小学校の先生が、学校の仕事を辞めて自分の田舎に帰ることになったので、村の人たちは、お礼にワインを一人一瓶ずつ持ってきて、大きな樽にそのワインを入れて渡すことにしました。その先生は、いっぱいに入ったワインの樽をもらい、大喜びしました。そして、田舎に帰った日、楽しみにしていた樽の中のワインを飲んでみました。すると、どうでしょう。なんと入っていたのはワインではなく、ただの水だったのです。では、どうしてワインが水になってしまったのでしょうか。

「誰かが夜中にこっそりとが、別の樽と取り替えて盗んでしまったんじゃないか…。」「ワインが薄くなって自然に水になってしまったのでは…。」とかそう思った人もいるかもしれませんが、実は、こんなことがあったのです。

村の人たちは、みんながワインを持ち寄って樽に入れる約束をしていましたね。でも、「どうせ、自分一人くらいワインじゃなくて、水を入れても、樽いっぱいのワインの味は変わらないだろうから、自分だけ内緒でワインの代わりに水を入れちゃおう…。」と考えたのです。

つまり、ワインが水になったのは、誰かが樽を取り替えたわけでもなく、ワインが自然に水になったわけでもなく、「自分一人だけが約束を守らなくても大丈夫だろう」…と、みんなが考えて、誰一人としてワインを樽の中に入れなかったことが原因だったのです。

さて、後期の委員会活動が始まりました。門のところには、代表委員会の人たちが、「おはようございます。」と登校してくるみなさんに挨拶をしてくれています。

でも、残念ながら、何も言わないで通り過ぎていく人がいます。「自分一人くらい挨拶しなくても…」そう思っているのでしょうか。はずかしくて挨拶できないという人もいるかもしれませんが、「自分一人ぐらいだまって過ぎても大丈夫…」と思うのではなく、ぜひ挨拶を返してくださいね。そして気持ちのいい一日をスタートしていきましょう。

それではこれで朝会話を終わります。